

国保連みやざき

vol.2



ジャカラダ (日南市)

CONTENTS

01 NEWS&TOPICS

- 令和6年度宮崎県国保診療施設連絡協議会通常総会を開催
- 令和6年度事業報告システム「国保情報データベース」操作研修会を開催
- 令和6年度宮崎県国民健康保険団体連合会職員採用試験を実施

02 情報ひろば

03 国保連行事予定 (6月～8月)



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

令和 6 年度宮崎県国保診療施設連絡協議会通常総会を開催

令和 5 年度事業実績報告・歳入歳出決算及び令和 6 年度事業計画・歳入歳出予算を可決

4月26日(金)、令和6年度宮崎県国保診療施設連絡協議会通常総会をハイブリッド形式にて開催しました。

本総会では、宮崎県国保診療施設連絡協議会、宮崎県国保地域医療学会、宮崎県国保診療施設開設者協議会の令和5年度事業実績報告、歳入歳出決算、令和6年度事業計画、歳入歳出予算、役員を選出等併せて10件の議案を提案し、全て原案どおり可決されました。

【議案第1号】～【議案第8号】

宮崎県国保診療施設連絡協議会

令和5年度事業実績報告、歳入歳出決算
令和6年度事業計画、歳入歳出予算

宮崎県国保地域医療学会

令和5年度歳入歳出決算
令和6年度歳入歳出予算

宮崎県国保診療施設開設者協議会

令和5年度歳入歳出決算
令和6年度歳入歳出予算

【議案第9号】

令和6年度宮崎県国保診療施設連絡協議会役員を選出

(任期) 自 令和6年 4月 1日
至 令和8年 3月 31日

役職名	施設名	職名	氏名
会長	小林市立病院	事業管理者	坪内 斉志
会長代行	-	-	-
副会長	えびの市立病院	院長	河内 謙介
	串間市民病院	事業管理者兼 院長	江藤 敏治
	宮崎県国民健康保険団体連合会	事務局長	徳留 義章
顧問	串間市民病院	名誉病院長	黒木 和男
	美郷町国民健康保険西郷病院	総院長	金丸 吉昌
監事	宮崎市立野病院	事務長	瀬口 智子
	五ヶ瀬町国民健康保険病院	事務長	井植 順子
事務局長	小林市立病院	事務部長	貴嶋 誠樹

【議案第10号】

令和6年度宮崎県国保地域医療学会
運営委員の選出

役職名	施設名	職名	氏名
学会長	串間市民病院	事業管理者兼 院長	江藤 敏治
運営委員長 運営委員	えびの市立病院	院長	河内 謙介
		看護師長	白坂 幸子
	宮崎市立野病院	院長	渡邊 信二
		事務局長	甲斐 洋一朗
	日南市立中部病院	院長	中津留 邦展
		事務局長	甲斐 洋一朗
	小林市立病院	事業管理者	坪内 斉志
		事務部長	貴嶋 誠樹
	えびの市立病院	事務長	木下 哲美
		院長	池田 直徳
	国民健康保険高原病院	事務長	外村 英樹
		院長	桐ヶ谷 大淳
	都農町国民健康保険病院	看護師長	海野 澄子
事務長		田原 裕亮	
美郷町国民健康保険西郷病院	院長	佐藤 祐二	
	看護部長	飯干 隆幸	
高千穂町国民健康保険病院	事務局長	内山田 修二	
	事務局長	串間市民病院	事務長



お問い合わせ先 保険者支援課 保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail: jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

令和 6 年度事業報告システム 「国保情報データベース」 操作研修会を開催

国保事業報告システム「国保情報データベース」は、保険者の国保事務の標準化・効率化を目的に、連合会ネットワークを活用した共同利用により、令和 6 年 4 月から稼働しております。

5 月 24 日（金）、本会 4 階大会議室において、国保事業報告事務担当者のシステムに係る理解向上のため、令和 6 年度国保事業報告システム「国保情報データベース」操作研修会を集合形式で開催し、県内市町村担当者 28 名の出席がありました。

研修会の前半では、機能概要及び操作説明について、ゼッタテクノロジー株式会社（国保情報データベース開発業者）より説明を行いました。

後半では、令和 5 年度国保療養給付費等負担金等の事業実績報告について、宮崎県福祉保健部国民健康保険課担当者より説明が行われました。

国保事務の標準化・効率化を推進するため、大変有意義な研修となりました。

引き続き本会では県及び市町村との情報共有・連携強化を推進し、本システムの安定稼働に努めて参ります。



研修会の様子

お問い合わせ先 情報・介護課 情報管理係
TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
E-mail: jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

令和 6 年度 宮崎県国民健康保険団体連合会 職員採用試験を実施

令和 6 年度の職員採用試験は以下のとおり予定しています。多数の申し込みをお待ちしています。

第 1 次試験 11 月 9 日（土）

第 2 次試験 12 月 15 日（日）

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

試験要項などの詳細は、
8 月頃にホームページで
公開するよ！



こくほ随想

新型インフルエンザ（パンデミック）対応

公益財団法人医療科学研究所理事長

江利川 毅

厚生労働事務次官就任後、年金記録問題、C型肝炎訴訟などの対応に忙殺されているときに、矢崎剛会計課長が「庁舎整備の予算が少し余る。活用を相談したい」とやってきた。「5つほど提案してくれ」と指示したら、その一つに「講堂にランケープルを敷く」という案があった。私は総理官邸勤務のときに、新官邸の地下室に強化された危機管理室を見ている。大災害やパンデミックのときに厚労省にも別格の危機管理体制が必要になると考え、ランケープルを採用した。有事の際に講堂で100人超体制での対応が可能になる。

2009年4月下旬、WHOから「メキシコで豚インフルエンザのヒト→ヒト感染が起こり、致死率が高い」等の情報が入ってきた。厚労省の会議室に対策本部を設置し、まずは都道府県への情報提供等対応に当たった。

4月28日にWHOがフェーズ4宣言、30日にはフェーズ5と引き上げられ、政府も新型インフルエンザ対策本部を設置し、国を挙げての取り組みが始まった。5月9日に検疫で感染者が見つかり、16日には兵庫県で高校生の集団感染が起きた。渡航歴のない人の感染であり、国内感染が進んでいたのである。

対策本部を講堂に移し、100人超の体制を組んだ。実態把握と医療の確保を中心に全都道府県との連絡体制をつくり、できるだけ頻度の高いマスク対応、官邸との連絡体制、専門家会議との連携など、分担し

て対応に当たった。感染都道府県が毎日のように増え、国会対応もあり、緊張感の高い期間が続いた。広報・リスクコミュニケーションには特に留意し、舛添厚生労働大臣が記者会見で発表し、事務局も定例的に広報対応した。

一方で、タミフルという薬が効くとか、季節性インフルエンザと同様に夏場は感染力が弱りそうだとか、さらには当初のメキシコからの情報が不正確で致死率はそれほど高くないとか、ありがたい情報も入ってきた。

その夏、少し落ち着いたところで私は退官したが、秋に再度感染のピークを迎え、その後下火になっていった。新型インフルエンザによる死亡率は他国に比較して相当低く、国民の協力と医療現場の方々の努力のお陰と感謝している。

これを踏まえて、2012年に新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定された。この度のCOVID-19に対しこの特別措置法が適用され、あの講堂が厚労省の対策本部となった。流行当初は、検査方法の開発・承認・供給が大きな課題となり、次いで、ワクチン・医薬品の開発が強く求められた。感染症指定医療機関の機能の発揮、医療機関の協力、流行制御のための感染症数理モデルによる予測、マスクの協力、国民の的確な対応等、総合的には的確に対応されたように思う。新しいワクチンの開発、治療薬の登場によって、長い戦いも下火になっていった。

情報ひろば

私が理事長を務める医療科学研究所は、これまで三度この問題を取り上げている。①2020年9月の「新型コロナウイルス—これまでを振り返り、秋冬に備える—」のシンポジウム（座長：尾身茂新型コロナウイルス感染症対策分科会長。感染初期段階における、国、自治体、医師、研究者、製薬企業の取組）。②機関誌「医療と社会」（2022年4月発行）の特集「新型コロナウイルス感染症：対策の課題と今後の展望」（責任編者：岡部信彦川崎市健康安全研究所所長、武藤香織東京大学医科学研究所教授。国、自治体、医師・研究者、数理

モデル研究者、マスコミ等8人の論文）。③自主研究「健康危機管理に対するガバナンス：COVID-19からの教訓」（城山英明東京大学教授を中心とするチーム。国や自治体の担当者からのヒヤリングを基に実証的な研究報告と政策提言）という研究レポート（2024年3月）。いずれも当研究所のHPから閲覧できる。多くの関係の方々に読んでいただき、参考にさせていただければ幸いである。

（記事提供 社会保険出版社）

著者プロフィール



江利川 毅
(えりかわ たけし)

出身地 埼玉県

公益財団法人医療科学研究所理事長

- 1970年 4月 厚生省入省
- 1982年 4月 厚生省大臣官房総務課長補佐
- 1985年 8月 内閣官房内閣参事官
- 1988年 6月 厚生省年金局資金運用課長
- 1990年 6月 厚生省年金局年金課長

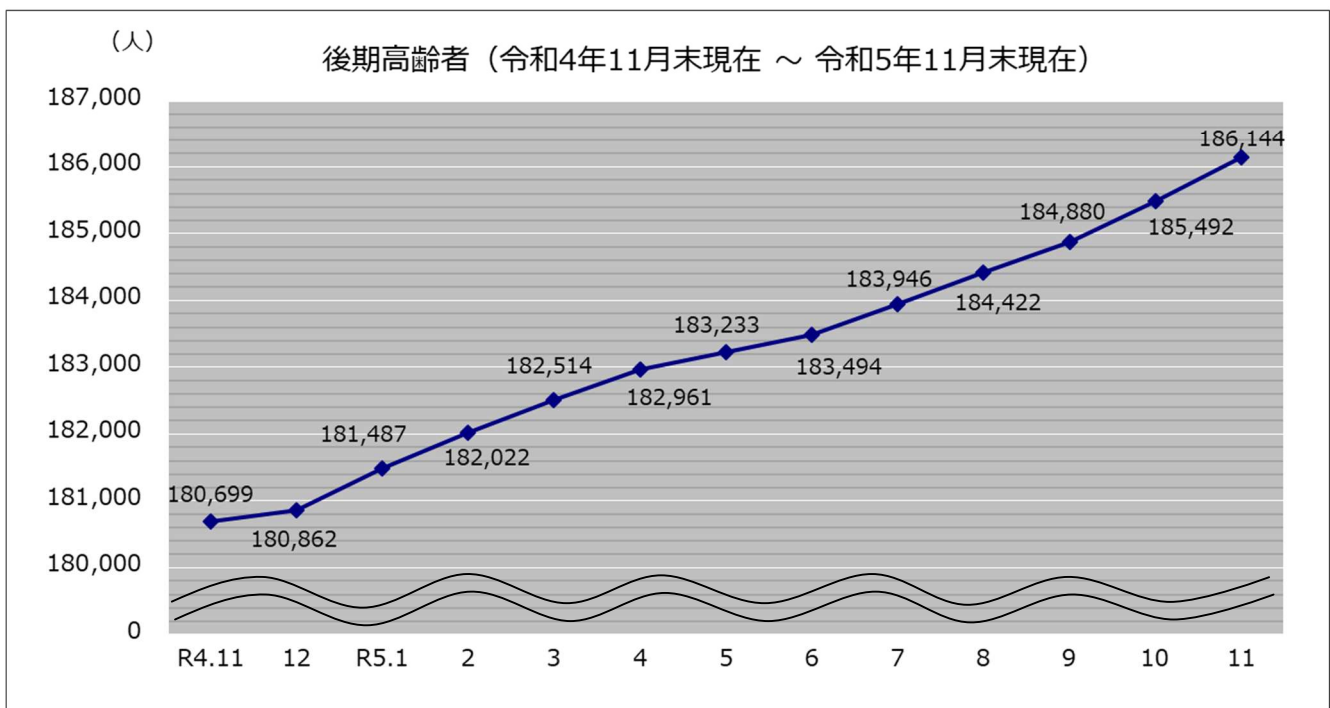
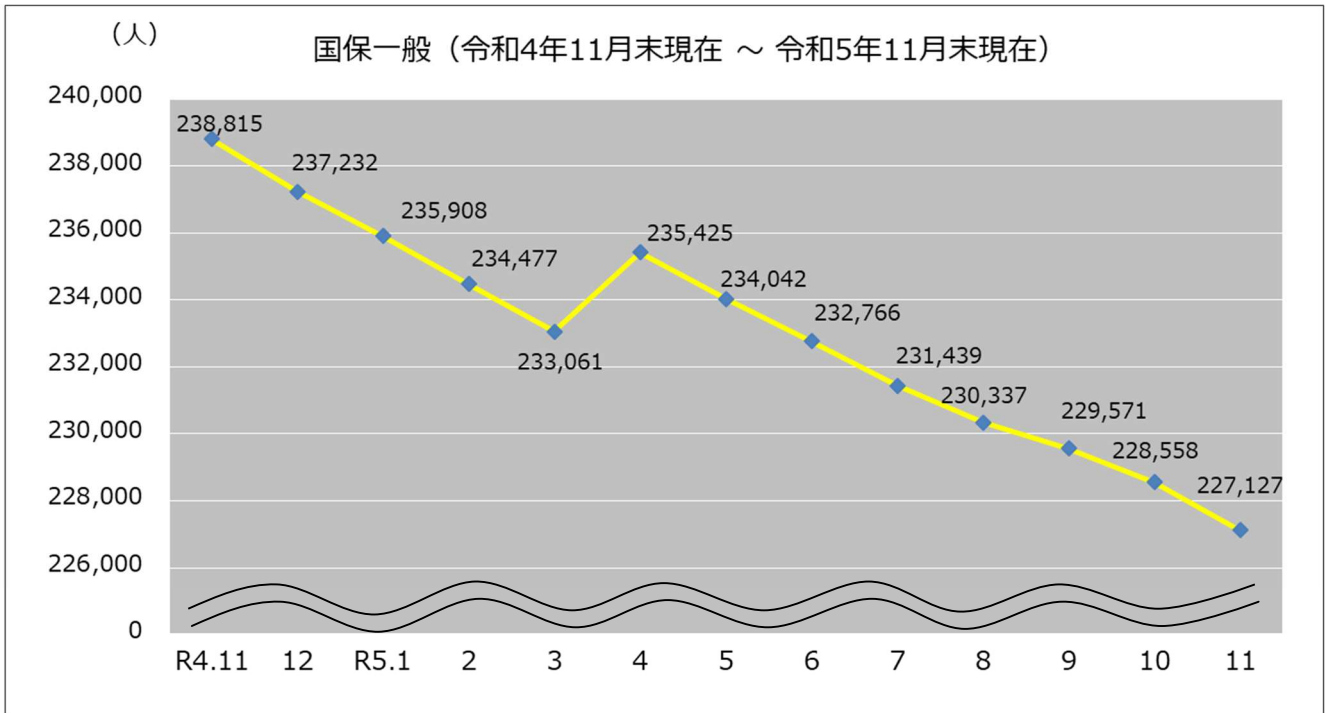
- 1991年 7月 厚生省薬務局経済課長
- 1993年 6月 厚生省保険局企画課長
- 1994年 9月 厚生省大臣官房政策課長
- 1996年 7月 厚生省大臣官房審議官（年金担当）
- 1996年 12月 厚生省大臣官房審議官（老人保健福祉担当）
高齢者介護対策本部事務局長
- 1998年 1月 内閣官房首席内閣参事官
- 2001年 1月 内閣府大臣官房長
- 2004年 7月 内閣府事務次官（2006年7月退官）
- 2007年 4月 日興フィナンシャル・インテリジェンス
顧問（7月、理事長）
- 2007年 8月 厚生労働事務次官（2009年7月退官）
- 2009年 10月 埼玉医科大学特任教授
- 2009年 11月 人事院総裁（2012年4月任期満了退官）
- 2012年 5月 公益財団法人医療科学研究所代表理事
（現職）
- 2013年 4月 埼玉医科大学特任教授（現職）
- 2014年 4月 公立大学法人埼玉県立大学理事長（2018年
3月任期満了退任）

データコーナー

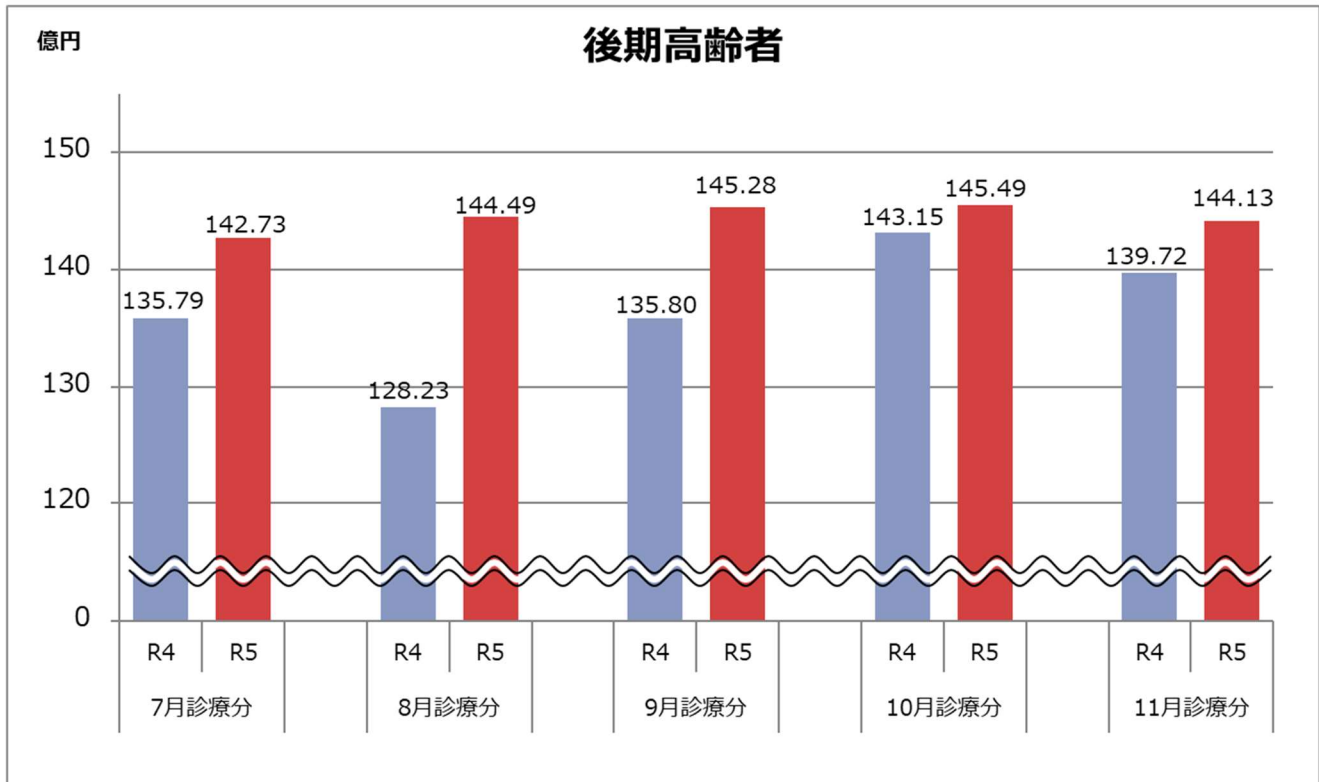
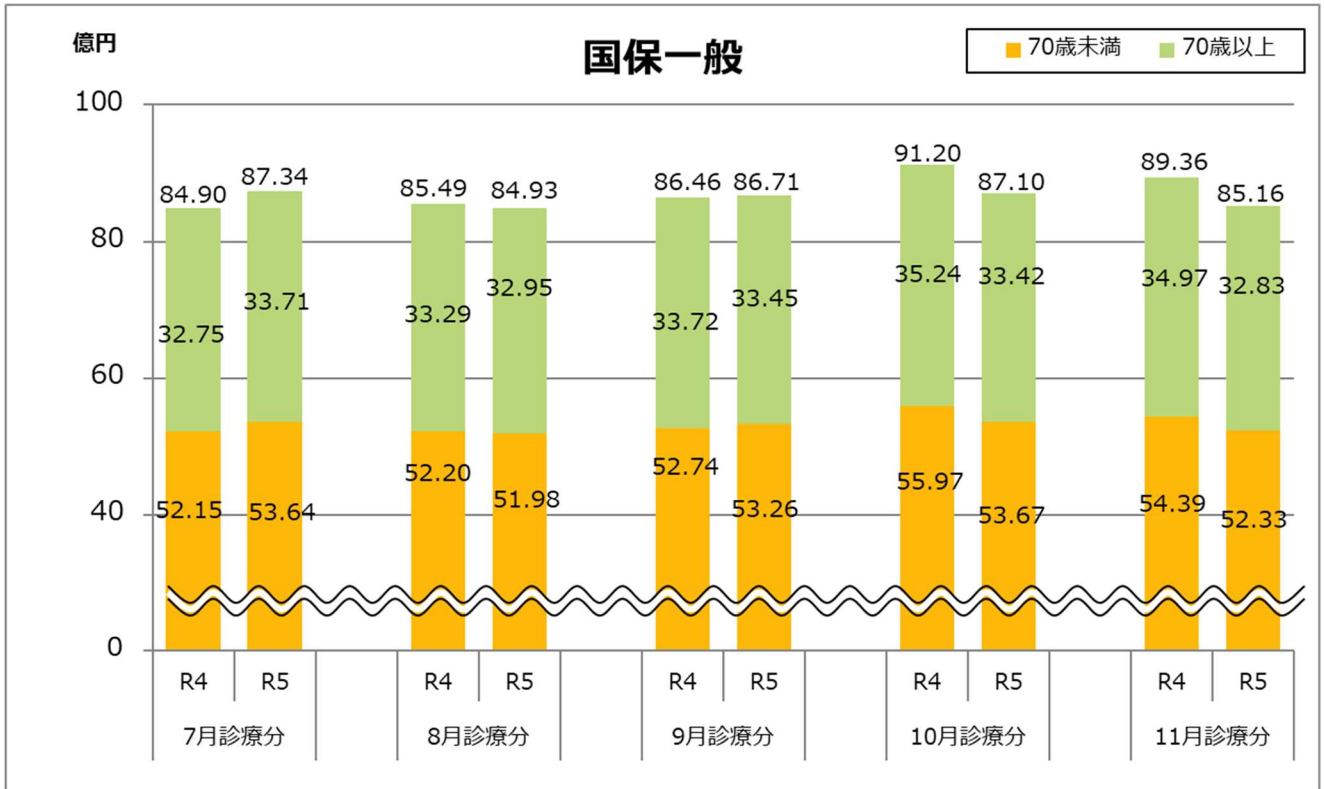
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

●被保険者の推移



●月別医療費



情報ひろば

●国保 1人当たりの医療費（令和5年3月～令和5年11月診療分）

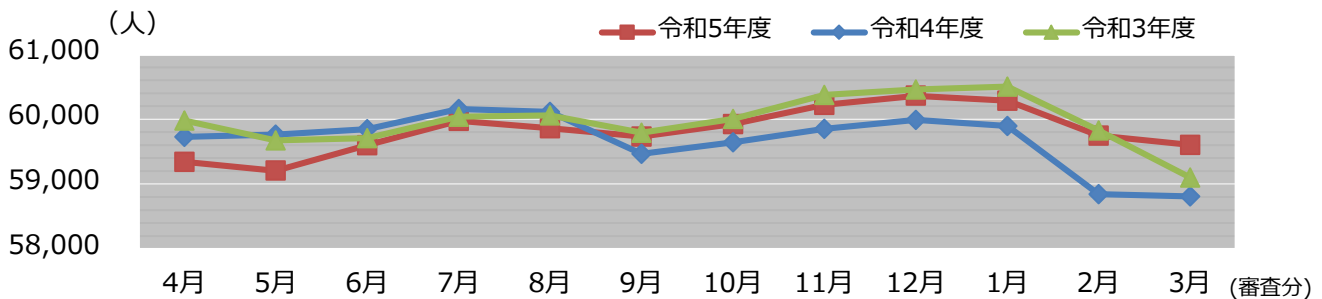
市町村	1人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和4年3月～令和4年11月		令和5年3月～令和5年11月		
		順位		順位	
宮崎市	304,948	20	322,107	22	105.6
都城市	329,465	13	347,333	13	105.4
延岡市	316,152	18	334,795	15	105.9
日南市	383,001	1	400,636	4	104.6
小林市	361,115	5	352,291	11	97.6
日向市	329,339	14	348,230	12	105.7
串間市	354,793	7	357,110	10	100.7
西都市	312,298	19	327,331	18	104.8
えびの市	358,056	6	373,880	6	104.4
三股町	323,483	16	326,320	19	100.9
高原町	354,041	9	367,803	7	103.9
国富町	281,781	25	324,648	21	115.2
綾町	294,450	22	275,291	26	93.5
高鍋町	339,515	11	317,675	23	93.6
新富町	304,305	21	337,058	14	110.8
西米良村	382,039	2	442,161	1	115.7
木城町	328,657	15	331,109	17	100.7
川南町	278,979	26	324,870	20	116.4
都農町	282,489	24	286,625	25	101.5
門川町	354,300	8	333,701	16	94.2
諸塚村	318,958	17	360,336	9	113.0
椎葉村	293,808	23	298,250	24	101.5
高千穂町	337,861	12	395,851	5	117.2
日之影町	376,318	3	438,987	2	116.7
五ヶ瀬町	353,288	10	364,503	8	103.2
美郷町	361,508	4	414,189	3	114.6
市町村平均	321,915		337,793		104.9

お問い合わせ先 情報・介護課 情報管理係
 TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
 E-mail:jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

介護保険だより

● 年度別・月別受給者推移

年度別・月別介護保険受給者数推移



介護保険データ (令和5年4月審査分～令和6年3月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	R4.4月～R5.3月	R5.4月～R6.3月	前年同月比	R4.4月～R5.3月	R5.4月～R6.3月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	547,736	575,083	105.0	32,727,617,874	33,595,454,691	102.7	7
都城市	256,822	257,617	100.3	15,659,433,604	15,937,842,580	101.8	8
延岡市	200,155	201,844	100.8	12,457,536,536	12,541,132,434	100.7	13
日南市	83,355	84,044	100.8	5,764,112,732	5,835,252,162	101.2	9
小林市	70,378	69,283	98.4	5,194,487,898	5,251,105,455	101.1	10
日向市	62,078	61,962	99.8	4,706,393,804	4,606,208,129	97.9	22
串間市	26,465	26,643	100.7	2,143,717,354	2,113,873,761	98.6	18
西都市	44,573	45,052	101.1	3,517,405,308	3,550,036,867	100.9	12
えびの市	36,966	36,272	98.1	2,772,517,070	2,609,834,011	94.1	25
三股町	30,757	31,459	102.3	1,892,866,804	1,951,451,222	103.1	6
高原町	14,816	14,846	100.2	1,134,601,596	1,132,177,962	99.8	15
国富町	30,521	30,463	99.8	2,057,405,551	2,078,827,281	101.0	11
綾町	9,454	9,059	95.8	765,281,296	754,703,308	98.6	18
高鍋町	23,714	23,764	100.2	1,637,002,589	1,628,205,922	99.5	17
新富町	16,482	17,310	105.0	1,323,670,065	1,319,798,582	99.7	16
西米良村	1,420	1,277	89.9	150,376,759	126,739,606	84.3	26
木城町	7,503	7,928	105.7	624,979,114	647,883,618	103.7	5
川南町	17,664	17,681	100.1	1,446,587,031	1,451,473,962	100.3	14
都農町	12,004	12,421	103.5	942,337,211	992,370,091	105.3	3
門川町	22,718	22,501	99.0	1,386,391,279	1,366,353,628	98.6	18
諸塚村	2,573	2,585	100.5	205,155,554	215,814,742	105.2	4
椎葉村	4,361	4,203	96.4	370,151,097	349,813,359	94.5	24
高千穂町	17,368	17,977	103.5	1,312,197,812	1,393,299,982	106.2	2
日之影町	5,422	5,406	99.7	588,945,493	579,239,173	98.4	21
五ヶ瀬町	4,636	4,552	98.2	395,295,638	438,190,191	110.9	1
美郷町	10,321	9,994	96.8	871,391,046	851,371,541	97.7	23
市町村計	1,560,262	1,591,226	102.0	102,047,858,115	103,318,454,260	101.2	

* 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、
高額介護サービス費および総合事業費の合計。

* 前年度伸び率は、令和4年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係
TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

国保連行事予定（令和6年6月～令和6年8月）

●6月

日	曜	行事	場所等
10	月	レセプト受付日	国保連 本館 1階ライブラリー室、東別館 1階受付窓口
14	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
20	木	国保審査委員会（～24日）	国保連 本館 4階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2階第2会議室
24	月	国保合同審査委員会	国保連 本館 4階大会議室
25	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
26	水	国保主管課長会議	オンライン会議形式

●7月

日	曜	行事	場所等
10	水	レセプト受付日	国保連 本館 1階ライブラリー室、東別館 1階受付窓口
17	水	柔整審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
19	金	国保審査委員会（～23日）	国保連 本館 4階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2階第2会議室
23	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4階大会議室
25	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
26	金	理事会・通常総会	オンライン会議形式

●8月

日	曜	行事	場所等
10	土	レセプト受付日	国保連 本館 1階ライブラリー室、東別館 1階受付窓口
16	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
17	土	国保審査委員会（～21日）	国保連 本館 4階大会議室
19	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2階第2会議室
20	火	トップセミナー	シーガイアコンベンションセンター
21	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4階大会議室
22	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性の皆様へ！ 風しんの追加的対策へのご協力をお願いします

●これから生まれてくる子どもを守るために！

妊娠中の女性が風しんに罹った場合、おなかの中の子どもの下に示す症状や障害など（先天性風しん症候群）が見られることがあります。



出典 政府広報オンライン HP

皆で風しんを予防することが子どもを守ることにつながります。
パートナーとのお子さんや地域や職場内での予防のためにご協力をお願いします。



●宮崎県の風しんの追加的対策（抗体検査）実施状況

宮崎県内での実施状況（平成 31 年 4 月～令和 6 年 4 月）	
対象者数※1	112,293 人
抗体検査数※2	31,267 件
抗体検査進捗率	27.8 %

健康診断を受ける医療機関や健診機関で、普段の診断項目と一緒に風しん抗体検査を受ける方もいらっしゃいます。
健康診断をこれから受ける方は、ぜひ風しん抗体検査もお考えください。



※1 参考：厚生労働省資料より

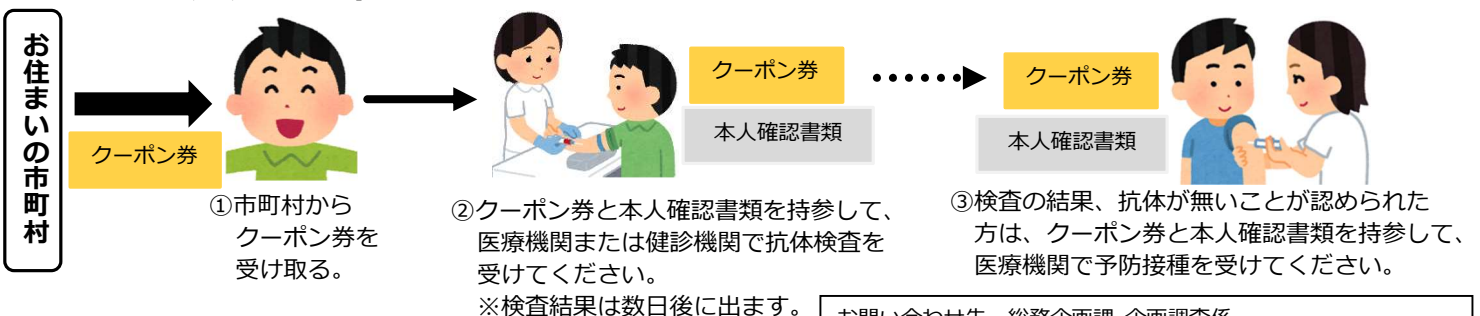
※2 本会確定件数

風しんの追加的対策とは

2018 年に風しん患者として届け出された患者のうち男性が約 8 割を占め、中でも 30 代から 50 代の男性に多いことが指摘された。この原因として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性は、定期接種の機会が 1 度もなく、抗体保有率が低い（免疫が弱い）方が多いことや感染しやすい職場環境に置かれている方が多いなどが考えられる。

そのため、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性に対し、抗体検査、予防接種を実施するもの。

●風しんの追加的対策の受診方法



お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

未来の赤ちゃんを守るため

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日

クーポンで
無料検査

生まれの男性は



風しん 検査



を受ける必要があります。



Why? /

どうしてこの世代の男性が対象なの？

公的な予防接種を受ける機会がなかったからです。

対象者には原則無料で検査を受けられる無料クーポン券が既に送られています。検査の結果、抗体が少ない方は予防接種も無料で受けられます。職場での健康診断や医療機関でぜひご利用ください。



What? /
風しんとは？



風しんはマスクと手洗いで予防できません。妊婦さんが感染すると、お腹の赤ちゃんの目や耳、心臓などに重篤な影響が出る可能性があるため、社会全体で抗体を獲得することが重要です。しかし、県内で検査を受けた割合は約3割と低迷しています。(2023年5月時点)

僕たちも、
受けに行きます！



宮崎県

検査・接種可能な医療機関、
当郡村の問い合わせ窓口はこちら▶

風しんの追加的対象 窓検索 🔍



40歳未満事業主健診データ活用のおしらせ



40歳未満の加入者についても
「健康診断結果の提供依頼」が可能です。*

40歳未満の加入者について
「健康診断結果の提供依頼」をすることの3つのメリット

メリット

1

加入者の健康課題等を把握
することで効率的・効果的
な保健事業が可能に。

(例：地域間や業種間、事業所間の
データ比較、40歳未満の者の生活
習慣病予防対策の提案 等)

メリット

2

コラボヘルス促進

(保険者と事業者等の連携による加
入者の予防・健康づくりの推進)

メリット

3

40歳未満の加入者も、マ
イナポータルで健診結果[※]
の確認が可能に。

※ 特定健診項目のうちマイナポ
ータルに登録された健診結果が確認で
きます。

※ 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和3年法律第66号）により、40歳未満の加入者についても健康診断結果の提供依頼が可能となりました。



詳しくは WEB サイトへ



イベント用機材貸出のご案内

地域の健康づくりや健康寿命延伸に関する啓発、国保の周知等を目的とした健康まつりなどのイベント活動を支援するため、保険者等のみなさまに以下の機材の貸出しを行っております。



イベントでみなさまとお会いできることをお待ちしております。

■ オレンジくん着ぐるみ

■ 体組成計

体重・体脂肪率、体の部位別の脂肪量、筋肉量などの測定を行うことができます。

■ もの忘れ相談プログラム

モニターに表示される簡単な質問をタッチパネルで答えていくことで、アルツハイマー型認知症の疑いをチェックできます。（※付属のプリンターも貸出ししております。）

■ チェッカーくん（足指力測定器）

下肢機能を把握するために足指の力を測定します。



もの忘れ相談プログラム

■ マイクロ CO モニター（呼吸ガス分析装置）

呼気中の一酸化炭素濃度を測定します。



チェッカーくん

■ ライフレコーダーEX（生活習慣記録機）

日常の運動量や生活習慣を把握することができます。

■ 健康パネル

色々な内容の掲示用パネルがありますので、様々なテーマのイベントに対応した健康パネルをご用意することができます。

■ オレンジタイム DVD

■ のぼり

■ はっぴ

■ テーブルクロス

■ ロールアップバナー



のぼり（5種類）



体組成計



マイクロ CO モニター

ご案内用ウェブページURL

<https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp/insurance/lending/>

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp



使ってみよう！
マイナ保険証

国保はみんなの健康づくりを応援します。

